

対日理解促進交流プログラム (Japan's Friendship Ties programs)

令和5年度

目的

- ▶ 諸外国・地域の優秀な青年を対象に、日本に対する関心と理解を向上させ、また、プログラム経験をいかした活動をしてもらうことで、親日派・知日派を発掘・育成し、我が国の外交基盤を拡充する。
- ▶ 参加者の専門性、関心分野に沿って、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に係る対日理解を促進し、参加者からの対外発信の強化を図る。

概要

【地域別名称（対象地域）】 JENESYS2023（アジア大洋州）
カケハシ・プロジェクト（北米）
MIRAI（欧州）
Juntos!!（中南米）

JENESYS



【事業】（1）招へい・派遣（2）オンライン交流（3）フォローアップ
【対象者】 招へい：高校生～社会人等、派遣：高校生～大学院生
【期間】 招へい・派遣：10日間程度（オンライン・オフラインによるハイブリッド形態）
【規模】 約14.8億円、招へい・派遣 約2,330人

事業の実施形態

日本政府（事業方針に沿って推進）
（拠出金支出）

国際機関等（事業の実施団体を選定・委託）
（拠出金管理）

実施団体等
（プログラムの企画・実施）

（参考）国際機関等：ASEAN事務局、SAARC事務局等、合計11機関